

報道関係者 各位

2026 年 10 月 8 日
株式会社日本旅行
国立大学法人京都大学

日本旅行と京都大学 高校生向けに「がん免疫療法に関する科学探究プログラム」を開発

株式会社日本旅行(本社:東京都中央区、代表取締役社長 吉田 圭吾、以下「日本旅行」)は、国立大学法人京都大学(京都府京都市、総長 立川 康人、以下「京都大学」)と京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター(以下「京都大学 CCII」)で学ぶ、科学探究プログラムを 2026 年 10 月 15 日に発売します。



京都大学大学院医学研究科がん免疫総合研究センター(CCII)

1、背景と目的

近年の学校教育では、自ら考え行動する「探究学習」や、将来を見据えた「キャリア教育」の重要性が不可欠なものとなっています。最先端技術と実社会の課題に触れ、生徒自らが問いを立てる「探究型学習」のニーズが拡大しています。

京都大学 CCII は、ノーベル生理学・医学賞を受賞した本庶佑特別教授により設立され、世界屈指の研究者が集結し、「今治らないがん」を治すために、がん免疫療法を深化させる研究に取り組んでいます。日本初のがん免疫に特化した研究現場に触れる機会は、貴重な体験であり、生徒たちの探究心や創造力をかき立て、将来の展望や学びにつながります。

一方、日本旅行の教育分野では、「日本の未来を担う次世代へ大きな気づきを与え、地域社会に貢献できる人材の育成」を掲げ、地域資源を生かした社会課題解決型学習・探究学習の実践の場を提供しています。自己の可能性に気づき、多様なキャリアの選択肢を広げることを目指してきました。

両者は、「未来を拓く創造的な人材を育む」という共通の想いのもと、京都大学 CCII が持つがん免疫療法をはじめとする学術的な知見と、日本旅行の教育プログラム開発・運営ノウハウを融合することで、次世代を担う高校生に向けて高い教育価値を提供します。

2、プログラム概要

- ・プログラム名
「がん免疫研究の最前線に触れる“未来のノーベル賞研究者を育む科学探究プログラム”」
- ・実施場所
京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター(CCII)
- ・受入
高等学校/1日1校
- ・主な内容
 - ・京都大学 CCII に関する動画の視聴
 - ・京都大学 CCII の研究現場を見学
 - ・京都大学の研究者や大学院生等から学ぶ講義や対話セッション
 - ・京都大学キャンパスフリー見学
- ・本プログラム受付開始
2026 年 10 月 15 日(木) 10:00～
- ・受付方法
株式会社日本旅行(団体支店・法人支店・教育旅行支店)

3、実証実験について

今年の8月下旬、実証実験として武庫川女子大学附属中学校・高等学校の生徒が本プログラムを体験しました。高校1年生から高校3年生を対象とし、生徒 19 名と教員3名が参加しました。

プログラムは本庶佑特別教授の動画視聴からはじまり、普段は立ち入ることの出来ない京都大学 CCII の研究現場を訪問し、京都大学の研究者や大学院生とのワークショップを通じ、がん免疫療法への理解を深めました。



<参加生徒のコメント>

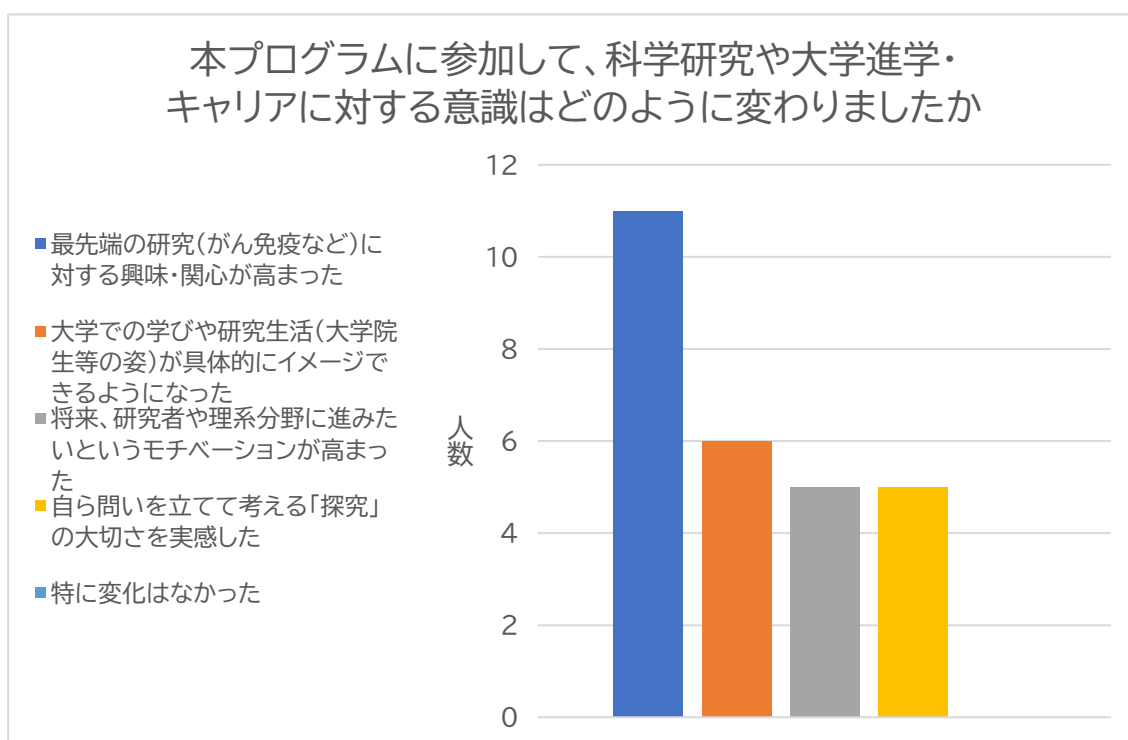
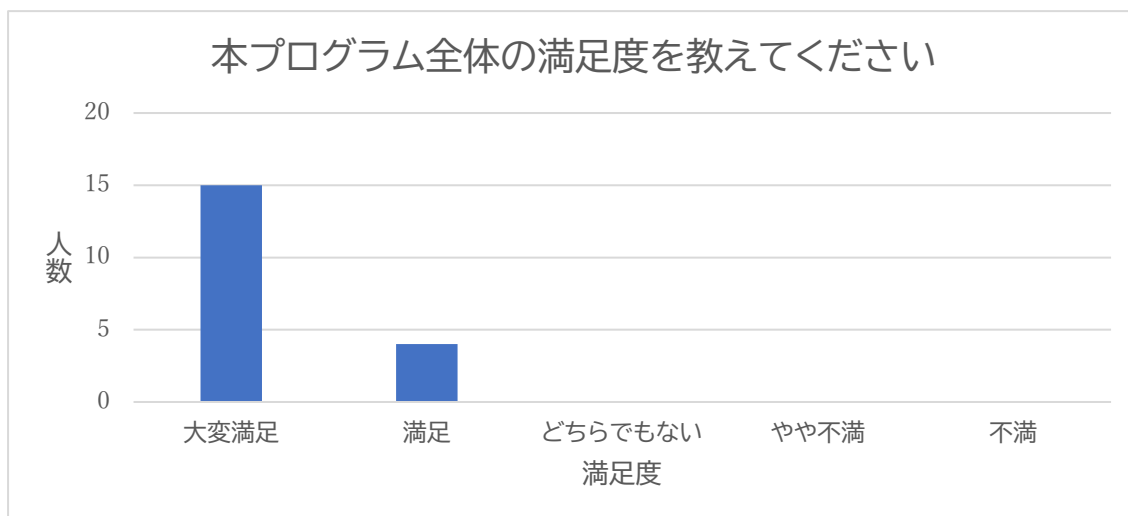
「本庶先生の動画説明がとても分かりやすかったので、どういう原理でがん免疫治療がされているのか、イメージしやすかった。英語でのビデオは字幕があるからついていけたので、もっと英語を頑張らないという気になった。」(高校3年生)

「どの場面も、はじめて見る物ばかりで非常に刺激になりました。特に実際の研究の様子は自分の将来をイメージするのに、とても大きな気づきとなった。」(高校2年生)

「CCII の建築のこだわりや、研究者が実際に活動している姿を見ることができた。普段見ることのできない設備を見て、モチベーションが高まった。」(高校1年生)

「大学院生とのワークショップでは、自分では疑問に思わなかったことや、自分と思った考えと違う考えなどを聞き、新たな気づきがあった。」(高校2年生)

<アンケート結果>



4、今後の展望

両者による連携を一段と加速させ、次世代を担う生徒たちが豊かなキャリア観や探究心を育むことができる実践的な教育機会の創出・提供に貢献してまいります。

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社日本旅行 広報担当:03-6895-7860

京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター(CCII)

基金室 加減 正樹:075-753-5855